



「JR東労組に対する嫌悪感を持った行為で、お客様と地域の皆さまの信頼を失う行為を直ちに改め、信義誠実の原則のもと健全な労使関係の確立を求める」 緊急申し入れを行う!

大地申第24号 5月22日

私たちJR東労組は、JR発足以降、地域との連帯を大切に恩返しする意味も込めて、身体の不自由な方々に列車の旅を心から楽しんでもらうために「旅のプレゼント」を開催してきました。多くの組合員が身体の不自由な方と接し、同じ立場で考え行動することにより、貴重な経験をしてきました。またこの経験を業務に生かし、安全やサービスの向上に努めてきました。JR総連埼玉県協議会と栃木県協議会の主催する「旅のプレゼント」は今年で25回目となり、この間、会社の協力も得て地域の皆さまと共に創りだしてきました。また平成21年には長年にわたり福祉の向上に貢献されたとして、さいたま市長から表彰されるなど社会的にも認知されてきました。

今回の旅のプレゼントは、来年の東京パラリンピックに向けて、障害のある方々への理解を深め、市民団体や地域の皆さまと手を取り合う重要な場として位置づけていましたが、会社からの協賛を得られず、その理由も明確にならない事は非常に残念でなりません。また、5月11日に開催されたJR総連栃木県協議会主催「旅のプレゼント」開催の際に、受付で使用する机と椅子の借用を「宇都宮駅、小金井駅、小山駅」で申し出たところ、「協賛していないので、支社の指示で貸すことは出来ない」となりました。この経過を参加者や来賓の方々に説明したところ、会社の姿勢に対し多くの疑問の声が上がっています。翌週に行われたJR総連埼玉県協議会主催「旅のプレゼント」では、机・椅子を貸し出したことを見れば、会社内の一部に東労組への嫌悪感があると言わざるを得ません。

JR東日本は、10連休中に発生した上越新幹線のトラブル等、利用者への影響が大きい時期に輸送障害を相次いで起こしたとして、国土交通省から警告文書が出されています。またダイヤ改正での日光線運転時分誤りもあり、お客様からの信頼を失いかねない事象が連続して発生しています。そのような中で、信頼回復に向けて現場では日々努力しています。今回現れた事象はこれらの努力を無にする行為です。

また、このような行為に合わせて、職場ではいまだに東労組に加入していると試験に受からない、希望している担務や異動が出来ないと言われ、脱退する事象も発生しています。このような不当労働行為を直ちに止めて、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックを労使の協力で成功させなければなりません。重大な決意を持って下記の通り申し入れますので真摯な回答を要請します。

記

1. 労使で長年に亘り協力して創りだしてきた「旅のプレゼント」への協賛を取りやめた理由と、JR総連栃木県協議会主催の「旅のプレゼント」で使用する机・椅子等の貸出しを拒否した理由を明らかにすること。
2. 組合に嫌悪感を持った行為を直ちに止め、日頃から十分な話し合いが行われ、相互の信頼が確立されるよう取り組むこと。

以上



**会社は地域の皆さまとの信頼関係を壊す行為はやめろ!
組合に嫌悪感を持った行為を改めるべきだ!**